



—東地中海地域ニュース—

イスラエル：トラフテンベルグ提言の閣議承認に対する活動家らの反応（11日付現地各紙）

11日付現地各紙は、トラフテンベルグ委員会（抗議行動を受けてイスラエル政府により8月に設置された物価問題の調査委員会）の提言書（以下、トラフテンベルグ提言）が閣議で承認されたことに対し、活動家らが抗議を表すデモとストライキを予定していると報じた。

1. 10日、「社会的公正」を求める運動のリーダーらは、トラフテンベルグ提言が9日、閣議で承認されたことに抗議し、トラフテンベルグ提言で謳われている予算は大幅に引き上げられる必要がある、として、今月29日に大規模な抗議デモを行うと発表した。
2. また、11日、活動家らは、政府による取り組みが不十分であるとして、全国的規模の国民ストライキ（peoples strike）を11月1日から開始することを発表した。同活動家らは、「我々はイスラエル史上初の国民ストライキを開始し、社会的公正への歴史的戦いにおける新たなステージを開始する。我々は、個々の苦しみのためだけではなく、他の人々の苦難に対する団結を示すために、ストライキを実行するのである」と訴えている。